

毎回テーマを決めて開催している公民館の料理教室

公民館利用者、コロナ禍前の水準以上にエピカ開館9カ月で1万人超

多目的ホールを含むエピカの公民館部分の利用者数は令和4年度、1万人を超え、長島分館と合わせて1万2086人となりました。

令和元年度は2館合わせて9974人だったことから、コロナ禍前の水準以上の利用がありました。

町は、利用者のニーズや満足度を把握し、指定管理者とともにより良い施設運営に努めていきます。

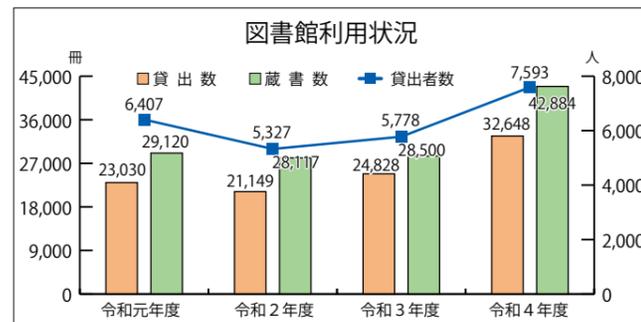


①②エピカで毎月開催されている子育て支援講座「ママズクラブ」。町内外の親子連れが楽しいひとときを過ごしている

平泉のにぎわい交流拠点として— 町学習交流施設「エピカ」 開館から1年

町学習交流施設「エピカ」は7月1日、開館から1年を迎えました。「町民の活力を生み、育てる“にぎわい交流拠点”」を基本コンセプトにしたエピカは、町立図書館と町公民館の機能を集約し、子育て支援スペースや多目的ホールなどを備えた施設として令和4年7月にオープン。施設の利用の様子や来館状況のほか、開館1年を記念したイベントなどを紹介します。

- 場所…平泉字志羅山25-3
- 開館時間…9:00~21:00
- 休館日(臨時休館を除く)
年末年始(12月29日~1月3日)、毎月最終金曜日(図書館のみ、館内整理日)、蔵書点検期間(図書館のみ、数日間)
- 問い合わせ先…町学習交流施設「エピカ」 ☎34-6656



図書館は、閲覧席(手前など)も旧図書館より広がり、利便性が向上した

**図書館蔵書は移転後1.5倍
貸出数、利用者ともに増加**

町立図書館の蔵書数は、エピカへの移転に伴って4万2千冊余りとなり、旧図書館の2万8500冊から1.5倍に増加しました。令和4年度の貸出者数は、7月1日の開館から9カ月間で7593人(前年度比1815人増)、貸出数は9カ月間で3万2648冊(同7820冊増)でした。移転が利用者の大幅な増加につながっているほか、学習スペースの充実により、中高生らの利用も増えていきます。

Interview



町学習交流施設「エピカ」館長 菅野 達也さん

「開館から1年経ち感じることは、「エピカ」の菅野達也館長に聞きました。

「開館から1年経ち感じることは、幅広い世代の人たちの利用があり、閉館時間まで勉強する人の姿もある。施設運営に協力してくれる町民のボランティアも十数人おり、大変ありがたく、施設への期待の大きさを感じる。」

「好評な企画、利用者が多いブースは。登山やガーデニング、ウォーキングなどの講座が人気。各種イベントは町外からの参加も増えており、さらに町民の皆さんに参加してもらえようようにしたい。」

勉強をする生徒、学生の利用も多い。子育て支援スペースも含め、遊び場・集まれる場として若い世代の利用も目立つ。

「今後どのような施設を目指すか。」

町民参加型の企画を充実させたい。「こういう催しをやってほしい」など、気軽に職員に声をかけてもらえるとありがたい。例えば、多目的ホールを開放する「あそびエピカ」「ピアノ開放日」は、来た子が楽しんでくれる。新たな参加者につながり、展示も増やしたりして、町民の皆さんにいつでも寄ってもらえる施設にしたい。



エピカ工作室で開かれた「親子で楽しむ陶芸体験」。参加者は講師(中央)に教わりながら、創作を楽しんだ=5月27日



第49回ひらいずみ産業まつりはエピカ駐車場で開かれ、多くの観客で賑わった=令和4年10月30日